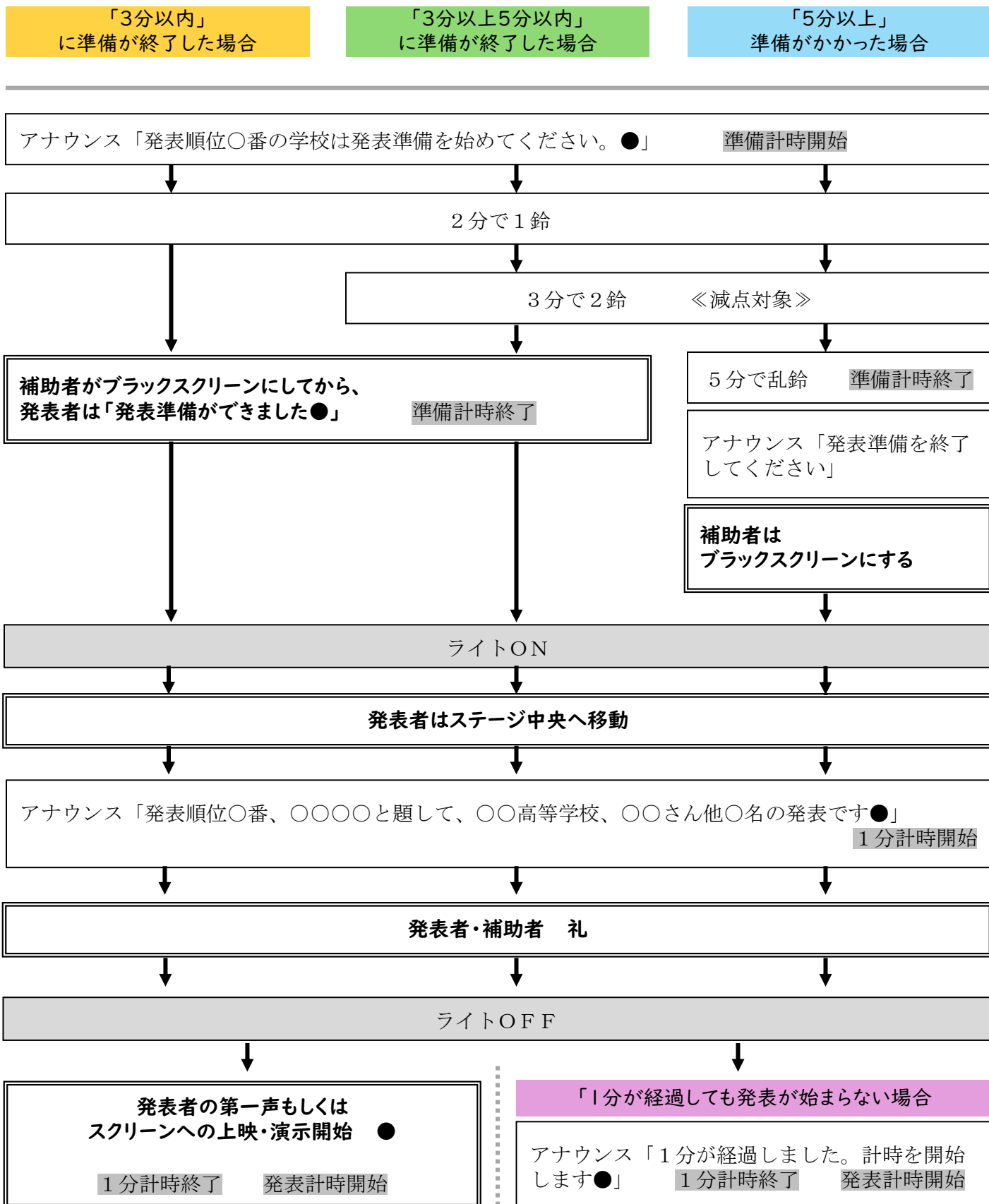


令和7年度 第73回 東北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会

『発表準備～発表』までの運営方法

●:計時タイミング



【補足事項】

- (1) 発表者の「準備ができました。」等の発表準備完了の表現の後、紹介アナウンスから発表までの1分間で「気をつけ、礼」をし、その後、発表者の第一声もしくはスクリーンへの上映または演示を行って下さい。
1分間計時は紹介アナウンス後に開始します。
- (2) ブラック画面（ブラックスクリーン）は演示としません。
- (3) 発表者の「礼」後、アクション（声、スクリーンの開始、実物を動かすような行為）があればそれを演示とみなして発表計時を開始します。
- (4) 「礼」後、発表スライドやそれに準ずるものが映っていた場合については発表計時を開始します。ただし、ブラック画面上（ブラックスクリーン上）にマウスポインタ等が映っても演示とはみなしません。
- (5) 「礼」後の、『よろしくお願いいたします』等は表現とみなし発表計時を開始します。
- (6) 「発表準備ができました」と言った後のプロジェクターでブラック画面以外映写されている場合は発表計時を開始します。この場合、紹介アナウンスはしません。
- (7) 上記(3)～(6)の場合、発表計時を始めたとわかるように、運営担当教員が手をあげます。途中で気づいて消した場合についても同様です。

【その他】

- ①プロジェクターは両会場共にステージ上に固定とします。
- ②当番学校以外にプロジェクター本体に触れることは禁止とします。
- ③プロジェクター音量は「0」になっています。

令和7年度 第73回 東北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会

『発表終了～質疑応答』までの運営方法

●：計時タイミング



【補足事項】

- (1) 発表計時終了は、「以上で発表を終わります」等の発表終了の表現を合図とします。
- (2) 発表者のうち1名が質疑に対して応答してください。(申込時に質疑応答の回答を行う生徒を、記載していただきます。)
- (3) 審査員より質疑を行います。
- (4) 質疑応答者は演台で質疑を受け、その場で応答してもらいます。
- (5) 質疑応答回答途中で他の発表者もしくは補助者が回答または発言することはできません。

令和7年度 第73回 東北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会

トラブル発生時の対応マニュアル

発表者または補助者による意思表示
「計時を中断してください」「トラブル発生」など

計時B 計時を中断（中断時刻を記録）
計時C 計時を続行

アナウンス「ただいま計時中断の合図がありました。計時を中断します。当番校の先生は、確認をお願いします。連盟事務局の先生は、進行席までお越しください。発表者・補助者の皆様は、その場でお待ちください。」

原因の確認（当番校担当・連盟事務局）

【当番校側トラブル】

分野審査長に報告

- 当番校による会場報告
- 当番校「ただいまの計時中断を受け、原因について確認したところ、当番校トラブルであることが確認されました。本大会のトラブル対応に基づいて、発表は再発表と致します。」

＜順番はそのまま再発表＞

「再発表は、発表者・補助者の準備ができ次第、アナウンスを再開します。」

＜順番を最後にし再発表＞

「再発表は、予定されております最後の発表後に致します。」

【当番校側トラブルの一例】

- ・プロジェクタの停止（補助者の操作ミスではない）
- ・マイクの音声不能
- ・運営側によるコード外れ（発表準備中は、運営はコンセン
- トやコードには触れません。発表前から抜けていた等）
- ・緊急時のサイレン等

【発表者側トラブル】

分野審査長に報告

発表者へトラブルの原因を伝え、
発表を再開してもらう。

発表再開

- 計時Cの計測を続行（再開時間を記録）
- 計時Cにより、8分1鈴・10分2鈴
12分超過時乱鈴（打ち切り）

発表再開……通常どおり審査

発表中止……発表した部分までの審査

【発表者側トラブルの一例】

- ・パソコンの停止、シャットダウン、スリープ状態など
- ・補助者によるコード外れ（準備中に引っかかるなど）
- ・プロジェクタ操作のミス